事務事業評価シート(事前評価)							
	事務事業名	所管部課					
5-2-3	福祉会館の耐震改修(ひばりが丘福祉会館)	福祉部 高齢者支援課					

	5-2-3	福祉会館の耐震改修(ひばりが丘福祉会)	館)	福祉部 高齢者支援課
	施策コード 笑2-2		施策目標 高齢者が地域のなかで生きが ます。	いをもって人生をおくることができるまちをめざし
1				

	コード 施策名 笑2-2 高齢者の	)生きがいづくりの	D充実	:	施策目標 高齢者が地域の ます。	なかで生きがいをも	らって人生をおくること	がで	きるまちをめざし	
	事務事業の目的								根拠法令等	
事務事	震災時に避難場所等として活用され、防災上重要な公共施設である福祉会館について、平常時の利用者の安全確保を図るとともに、震災時の拠点施設として機能確保の観点から、耐震改修を行う。								法律   条例·規則   政令·省令   要綱·要領	
業	事業内容・実施方法等 平成21年度から平成23年度にかけては、ひばりが丘福祉会館(昭和56年築)の耐震診断・改修工事を実施する。									
の概要					:会館(昭和56年築)の 设計、平成23年度に耐		E実施する。			
	事業開始時期	平成21	年度	実施形態	態 ☑ 直営 [	□委託 □補助 [	□ その他 (		)	
	項	目		単位	21年度	22年度	23年度		目標 年度	
	事業費(A) 国庫支出金·都支	出金		-m	3,248	3,365	49,780			
	内 地方債 訳 その他 ( 一般財源		)	千円	3,248	3,365	49,780	$\vdash$	0	
	所要人員(B)			人	0.20	0.20	0.20	<b>'</b>	0	
1	人件費(C)=平均給与	5 × (B)		<u>/ `</u>	1,633	1,633			0	
タ	臨時職員等賃金(C')			千円	<u> </u>					
	総コスト(D)=(A)+(C)+(C')			千円	4,881	4,998	51,413		0	
	単位当たりコスト									
	(E)=(D)/ ( 診底	fi·設計·耐震改修工事	数)	千円	4,881	4,998	51,413		#DIV/0!	
		等指標		単位	21年度	22年度	23年度	١	目標 年度	
	診断·設計·耐震改作			箇所	1	1	1	$\Box$		
評価	目標値									
指	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度		目標 年度	
標の設		日標		%	33	67	100	$\vdash$		
定	二次	目標						<b>'</b>		
	(指標の説明 など) 平成23年度までの全体工事費を100%とし、各年度での改修工事完了までの工事手順で進捗率を算定した。									
事	市民・関連団体等の意見 後、市に (アンケート結果など) 建設」を の開催・				於者保健福祉計画策定時のアンケート調査においては、高齢者の生きがいづくりで、今 市に特に力を入れて欲しい施策として、各対象者層ともに「老人福祉関連施設の充実・」をあげる人が多くなっている。また、工事に対する利用者への周知方法として説明会 催・市報の掲載等により遺漏無きよう実施をする必要がある。					
業環境等		こおける制約や 確保等	į	設の耐震 者福祉記	ミ化率を100%とする 十画でも福祉会館の	ことを目標としてお 改修が必要である	を促進計画では、平成 り、福祉会館も対象とで されており、平成21年 福祉会館の耐震診断	なって ≅3月1	こいる。また、高齢 に策定された西	
	代替・類似サ	ービスの有無		□ 有☑ 無	公共施設の耐震 る。	改修工事であるの	で代替サービス等につ	いて	は適用無しであ	

5-2-3 福祉会館の耐震改修(ひばりが丘福祉会館) 福祉部 高齢者支援課	事業コード	事務事業名	所管部課
	5-2-3	福祉会館の耐震改修(ひばりが丘福祉会館)	福祉部 高齢者支援課

施策コード	施策名	施策目標
笑2-2	高齢者の生きがいづくりの充実	高齢者が地域のなかで生きがいをもって人生をおくることができるまちをめざします。

## 【一次評価】

	検証項目	ランク		一次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等
	事業の優先 度(緊急性)	3	事業の優先 度(緊急性)		防災上重要な施設であることから、耐震診断を 実施して必要な改修工事を行うという本事業を実 施する緊急性と必要性は高いと考える。
Α	事業の 必要性	3	市民ニーズ 2 事業の の把握 2 必要性	☑事業化	改修工事の内容にもよるが、工事実施期間中 における会館の運営や休館について、利用者に
	事業主体 の妥当性	3	受益者負担 の適切さ 事業主体 の受当性	□実施を延期	対して適切な情報提供を行っていく必要がある。
	直接のサービ スの相手方	2	事業内容等 直接のサービス の適切さ の相手方	   □ 抜本的見直し	
В	事業内容等 の適切さ	3			
	受益者負担 の適切さ	3	検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目	計画を中止	
С	市民ニーズ の把握	2	B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目		

## 【二次評価】

	検証項目	ランク		二次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等
	事業の優先 度(緊急性)	3	事業の優先 度 緊急性)		ひばりが丘福祉会館は、昭和56年の築造であり、市が策定した西東京市耐震改修促進計画の公共施設の耐震化率100%の目標にも合致して
А	事業の 必要性	3	市民ニーズ 事業の 必要性	☑事業化	いる。また、施設は西東京市地域防災計画上の 二次避難所に位置づけられており、防災上重要
	事業主体 の妥当性	3	受益者負担 事業主体	□ 実施を延期	な公共施設となっていることから早急に着手すべきである。 利用状況は、他の会館と比較しても高い方にあ
	直接のサービ スの相手方	2	の適切さの妥当性	□ 抜本的見直し	り、一方では行政境に位置していることから東久 留米市民の利用もあるため、工事期間等の対応
В	事業内容等 の適切さ	3	の適切さの相手方	■計画を中止	については丁寧な周知方法を検討する必要がある。   こ。
	受益者負担 の適切さ	3	  検証項目の見方   A:事業実施の意義を検証する項目		
С	市民ニーズ の把握	2	B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目		

## 【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業化する上での課題等
☑事業化	ひばりが丘福祉会館は地域防災計画において二次避難所に位置づけられており、全公共施設の耐震化を目指す市の方針も踏まえると、早期に耐震改修を実施すべきと考える。
□実施を延期	改修工事の実施にあたっては、利用者の不便とならないよう、十分な情報提供を行う必要がある。
□抜本的見直し	
□計画を中止	